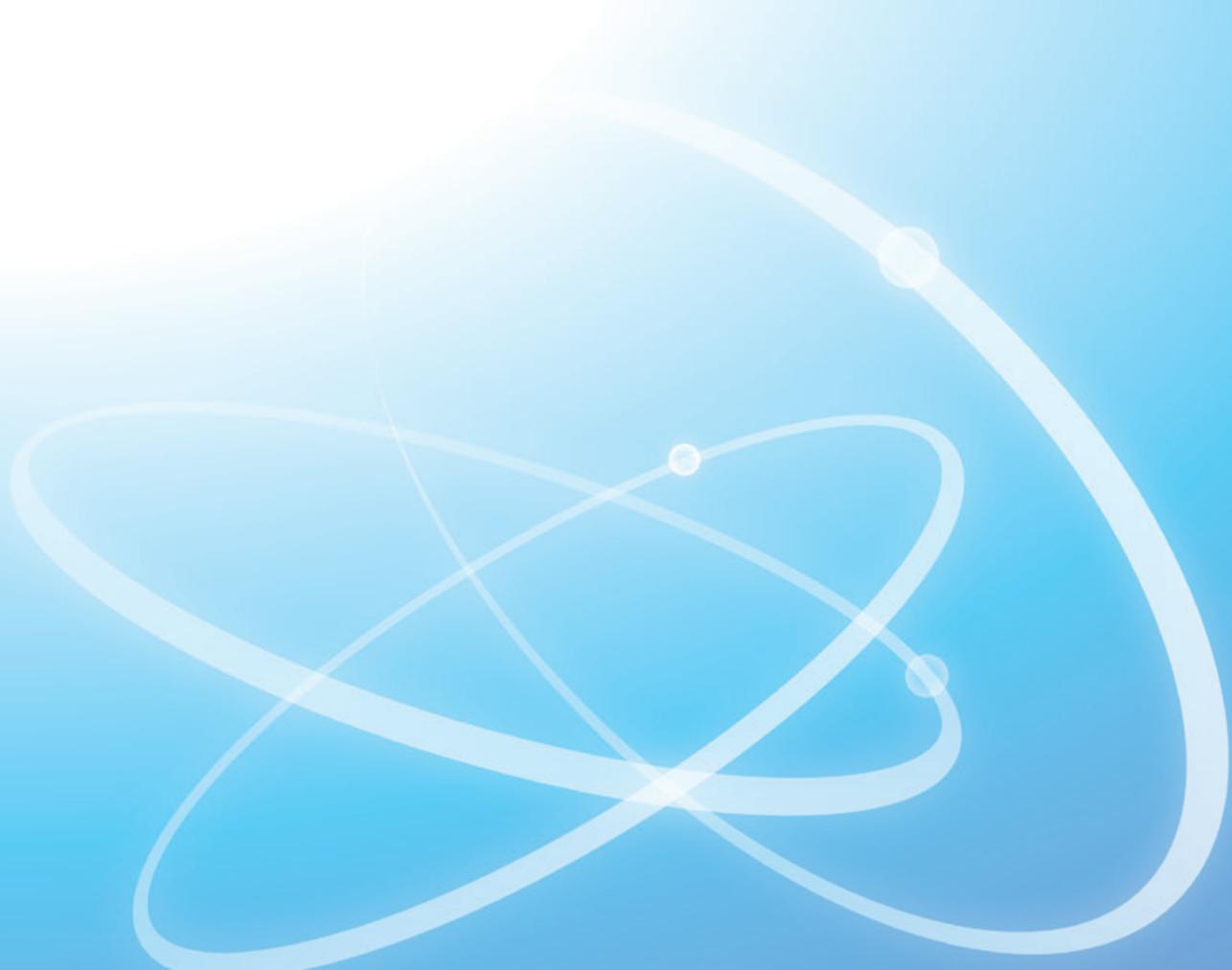


TAZMO®

第54期 年次報告書 2025年1月1日~2025年12月31日



Technology for People's Future

半導体製造装置を中心に業績拡大 更なる成長に向け業務改革



代表取締役社長 佐藤 泰之

- ・顧客ニーズの把握と求められる製品の開発
- ・継続した原価低減による利益率の向上

▶業績及び事業報告

2025年度の半導体市場は、AI関連需要が市場全体の成長を大きく押し上げる一方、AI以外の分野では回復が遅れるなど、分野間で明暗が分かれる一年

となりました。特にメモリーやロジックを中心とした領域は、前半から低調な状況が続き、後半も想定ほど回復が進まず、市場全体の本格的な底上げには至りませんでした。当社の主力事業であるプロセス機器事業は、この市場環境の影響を強く受けました。こうした外部環境のもと、当社の通期業績は売上・利益とも計画を下回り、前年度比でも減収減益となりました。特にプロセス機器事業のうち、洗浄機や搬送機器といった幅広い半導体用途に関わる領域で、ウェーハ生産枚数の増加が見られなかったことにより、受注および売上が伸び悩む結果となりました。

一方、AI向け半導体装置は計画通りの成長を実現し、前年比でも大きな成長を記録しました。市場全体のAI投資拡大を背景に、当社としても主要な成長ドライバーとなり、事業を牽引しました。

パワー半導体分野では、市場全体として前年度比で減速感があるものの、インフラ、AIサーバー、省エネ関連といった用途向け需要は堅調に推移しました。その結果、当社の売上も概ね計画ラインを確保しました。洗浄機分野では、大型案件が一段落した後、次の設備投資案件の獲得に向けて活動を進めたものの、市場低迷の影響を受け受注は減少し、新規ユーザーや新規用途の開拓は想定よりも時間を要する状況となりました。

以上のように、AI関連は大きく成長した一方、その他の装置分野は市場低迷の影響を強く受けた結果、全社としては計画未達で着地しました。事業セグメントごとに明確な差が表れた年度であり、今後は各市場環境に応じた戦略展開をより一層進めてまいります。

▶ 今年度の見通し

2026年度につきましては、引き続きAI市場が半導体業界の成長をけん引する見通しです。これに加え、すでに動きが見え始めているメモリーやロジック向けの前工程投資の回復、および先端パッケージ分野での投資拡大が進むと予想しています。メモリーやロジック向け前工程投資は徐々に回復し始めており、業界全体として設備投資の回復が進む年になると期待しています。タツモとしては、こうした市場動向を踏まえ、2026年度は特に新製品の市場投入に注力する方針です。従来のAI向け装置やパワー半導体向け装置を事業基盤として維持しながら、開発を進めてきた新規装置を今期から来期にかけて市場へ本格投入していく計画です。具体的には、パネルレベルパッケージ装置をはじめ、Direct Transfer Bonder (DTB/C2Wボンダー)、Laser Assisted Bonder (LAB/レーザー接合装置)といった新規開発装置の市場導入を今期から来期にかけて本格的に推進し、これらに

よる売上および受注の拡大につなげていくことを重要テーマとして位置づけています。特に、これらの新製品は中長期的な成長領域に位置づけられており、当社の新たな柱となることを期待しています。

▶ 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

最後に、株主の皆さまへ心よりお伝えしたいのは、2025年度は掲げた計画に対して売上・営業利益・経常利益が未達という厳しい結果となったことを真摯に受け止めているということです。市場の設備投資動向の影響を避けられない事業ではありますが、その環境に依存するのではなく、自ら市場を切り拓ける商品力・技術力・ものづくり力・企業力の強化を継続的に推し進め、タツモの事業規模をさらに一段階引き上げるべく全社一丸で取り組んでまいります。今後とも、株主の皆さまのより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事業の概況

2025年度 連結業績

当連結会計年度における経営環境は、地政学リスクの高まり、原材料の高騰や不安定な為替相場など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する半導体業界におきましては、引き続き生成AIに関連したサーバーへの設備投資が拡大しており、アドバンスドパッケージ向けの半導体装置の需要が市場をけん引いたしました。このような状況のなか当社グループは、中長期的な成長に向けて、顧客ニーズに対応した装置の開発や生産活動に注力してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は354億28百万円（前期比1.2%減）となりました。利益面では、前期比で製品の売上高構成が変わったことや、一部の部門で売上高が大幅に減少した影響があり、営業利益47億68百万円（前期比19.4%減）、経常利益50億9百万円（前期比16.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益35億41百万円（前期比16.6%減）となりました。

2025年度 連結業績

	2025年度 当連結会計年度 自 2025年 1月 1日 至 2025年12月31日	ご参考	
		前連結会計年度 自 2024年 1月 1日 至 2024年12月31日	対前期 増減率
売上高	35,428 百万円	35,865 百万円	1.2%減
営業利益	4,768 百万円	5,917 百万円	19.4%減
経常利益	5,009 百万円	5,998 百万円	16.5%減
親会社株主に帰属する当期純利益	3,541 百万円	4,247 百万円	16.6%減

セグメント別概況

プロセス機器事業

半導体装置部門

半導体装置部門につきましては、概ね計画通りに推移したことから、売上高は172億12百万円（前期比39.7%増）となりました。

搬送装置部門

搬送装置部門につきましては、半導体メーカーの設備投資が鈍化している影響を受け、売上高は76億57百万円（前期比7.9%減）となりました。

洗浄装置部門

洗浄装置部門につきましては、ウェーハメーカーの設備投資が鈍化している影響を受け、売上高は17億56百万円（前期比68.8%減）となりました。

コーター部門

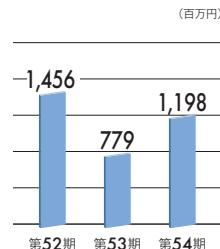
コーター部門につきましては、フラットパネルディスプレイ関連のメーカーによる設備投資がほぼ無いことから、売上高は8億48百万円（前期比65.5%減）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は274億75百万円（前期比4.4%減）、営業利益40億89百万円（前期比25.4%減）となりました。



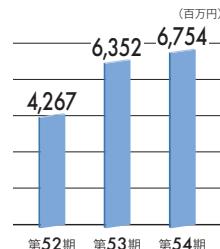
金型・樹脂成形事業

金型・樹脂成形事業につきましては、コスト構造の改善により、売上高は11億98百万円（前期比53.8%増）、営業利益56百万円（前期は1億28百万円の営業損失）となりました。



表面処理用機器事業

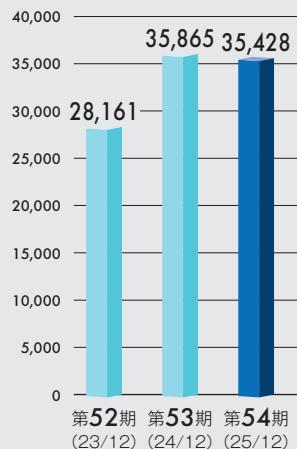
表面処理用機器事業につきましては、概ね計画通りに進み、売上高は67億54百万円（前期比6.3%増）、営業利益6億2百万円（前期比4.1%増）となりました。



財務ハイライト(連結)

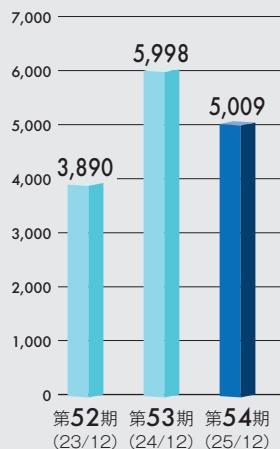
売上高

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



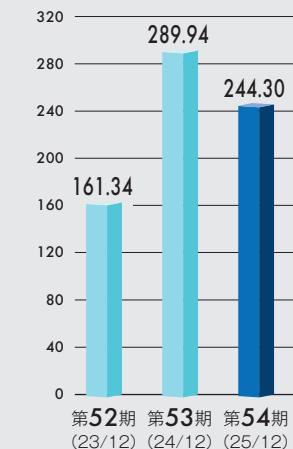
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)



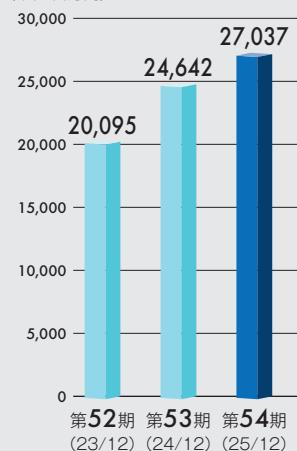
総資産

(単位:百万円)



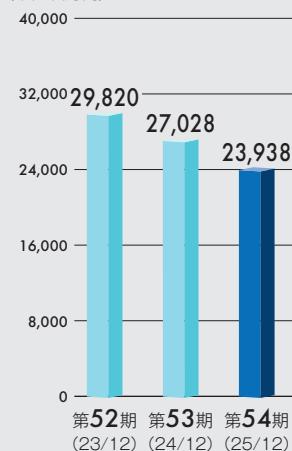
純資産

(単位:百万円)



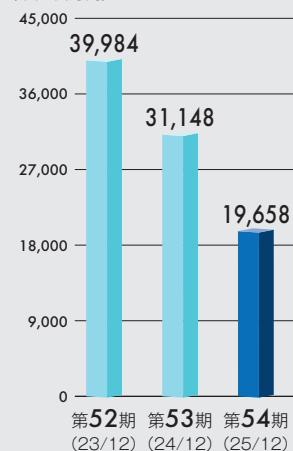
受注高

(単位:百万円)



受注残高

(単位:百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計 年度末 (2024年12月31日)	当連結会計 年度末 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産	40,731	37,809
固定資産	8,469	9,083
資産合計	49,200	46,893
負債の部		
流動負債	17,696	14,393
固定負債	6,861	5,462
負債合計	24,557	19,855
純資産の部		
株主資本	22,794	25,390
資本金	3,568	3,568
資本剰余金	3,430	3,420
利益剰余金	16,089	19,140
自己株式	△ 293	△ 739
その他の包括利益累計額	1,381	1,151
その他有価証券評価差額金	△ 0	△ 0
為替換算調整勘定	1,382	1,152
退職給付に係る調整累計額	—	△ 0
非支配株主持分	466	494
純資産合計	24,642	27,037
負債及び純資産合計	49,200	46,893

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (自2024年 1月 1日 至2024年12月31日)	当連結会計年度 (自2025年 1月 1日 至2025年12月31日)
売上高	35,865	35,428
売上原価	24,009	24,669
売上総利益	11,855	10,758
販売費及び一般管理費	5,937	5,989
営業利益	5,917	4,768
営業外収益	181	348
営業外費用	100	108
経常利益	5,998	5,009
特別利益	3	16
特別損失	177	17
税金等調整前当期純利益	5,824	5,008
法人税、住民税及び事業税	1,638	1,611
法人税等調整額	△ 106	△ 189
当期純利益	4,292	3,586
非支配株主に帰属する当期純利益	45	44
親会社株主に帰属する当期純利益	4,247	3,541

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要&株式情報

▶ 会社概要 (2025年12月31日現在)

商号	タツモ株式会社
本社所在地	〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5311番地
設立	1972年2月
資本金	3,568,590,682円
事業内容	半導体製造装置、搬送ロボット、プリント基板めっき装置、精密金型及び樹脂成形品などの開発・製造・販売
従業員数	449名(連結1,150名)
営業所・工場及び支店	第1工場・第3工場・第5工場/東京営業所
子会社	プレテック株式会社 TAZMO INC. 上海龍雲精密機械有限公司 TAZMO VIETNAM CO.,LTD. 龍雲亞普恩科技股份有限公司 株式会社ファシリティ 富萊得(香港)有限公司 富萊得科技(東莞)有限公司 FACILITY HANOI CO.,LTD. 株式会社クオークテクノロジ 龍雲(紹興)半導体設備科技有限公司 龍雲研創(紹興)電子科技有限公司 龍雲同舟(紹興)電子科技有限公司
主要取引銀行	株式会社中国銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社商工組合中央金庫

▶ 取締役 (2026年3月24日現在)

代表取締役社長	佐藤泰之
取締役会長	池田俊夫
常務取締役	曾根康博
常務取締役	吉國久雄
取締役	山本夕記
社外取締役 (監査等委員会委員長)	岡友和
社外取締役 (監査等委員)	石井克典
社外取締役 (監査等委員)	勇木伸子
社外取締役 (監査等委員)	足立道夫

▶ 株式の状況 (2025年12月31日現在)

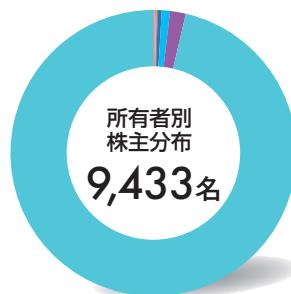
株式の総数

発行可能株式総数	40,800,000株
発行済株式の総数	14,842,354株
株主数	9,433名

大株主(上位10名)

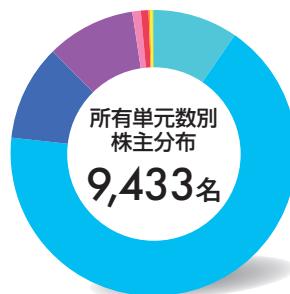
株主名	持株数	持株比率
株式会社大江屋	2,235,000 株	15.26 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,270,300	8.67
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	498,500	3.40
FUBON SECURITIES CO.,LTD. CLIENT 30	474,300	3.23
INTERACTIVE BROKERS LLC	314,400	2.14
中銀リース株式会社	304,500	2.07
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	279,400	1.90
鳥越 琢史	258,197	1.76
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505044	231,100	1.57
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505301	230,500	1.57

(注) 1. 持株比率は自己株式数(200,746株)を控除して算出しております。
2. 自己株式には従業員株式給付信託(J-ESOP)の導入に際して設定した、株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)が保有する当社株式169,300株を含んでおりませんが、連結財務諸表においては自己株式として処理しております。



政府・地方公共団体	0名	1 単元未満	908名
銀行	2名	1 単元以上	6,342名
信託銀行	9名	5 単元以上	1,024名
生命保険会社	2名	10 単元以上	951名
損害保険会社	0名	50 単元以上	91名
その他金融機関	1名	100 単元以上	82名
金融商品取引業者	42名	500 単元以上	10名
その他法人	88名	1,000 単元以上	23名
外国法人等	169名	5,000 単元以上	2名
個人・その他	9,120名		

※自己株式は個人・その他に含めて記載しております。



※自己株式200,746株は1,000単元以上に含めて記載しております。

タツモ株式会社

〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5311番地

▶ 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

(〒541-8502)

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業

●お問い合わせ先

0120-094-777(フリーダイヤル)

●各種お手続き用紙のご請求

株主関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のインターネットでも24時間承っております。

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公 告 の 方 法 電子公告

公告掲載URL <https://www.tazmo.co.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ホームページのご案内

当社のホームページでは最新ニュースや製品紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスを設け、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるコンテンツを掲載しております。下記のアドレスよりご覧ください。



IR TOPICS



ABOUT US



<https://tazmo.co.jp/>